

# 知事と市長の1対1対談

8月5日、市立海の博物館において、三重県知事と鳥羽市長が1対1の対談を行いましたので、その概要をお知らせします。

企画財政課企画経営室

☎ (25) 11101

「海女文化」を活かした  
地域活性化に向けて

中村市長

厳しいルールを自らに課し、資源を保全しながら続く持続可能な漁業の在り方は、SDGs（持続可能な開発目標）の目指すものと同じというか、ずいぶん前から先取りをしていた。女性がいきいきと活躍し、年を重ねてもなお、地域で大きな役割を担っているところも大きな特徴。海女さんは、すごい！海女文化は世界に誇るべき「日本遺産」。ユネスコ無形文化遺産登録への機運を高めていくため、他県と連携したり組みや情報発信をお願いしたい。

鈴木知事

県として、文化財保護、観光振興、漁業振興の3つの柱で取り組む。「全国海女文化保存・振興会議」での連携や機運を高めていく活動に注力していきたい。

世界に誇る水産拠点の構築に向けて

中村市長

鳥羽市水産研究所は、令和2年4月からの供用開始に向け新築移転の準備をしている。志摩の三重県水産研究所、南伊勢の増養殖研究所など、伊勢志摩地域には多くの水産研究拠点が集積しており、連携して世界に発信していきたい。

医師確保について

中村市長

個別連携はあるが、マルチでも連携を進めたい。具体的な内容を詰めていきたい。

泉先生が、やぶ医者大賞（兵庫県養父市主催）で地域医療の発展に貢献する医師をたたえる名譽な賞）を受賞された。今後も、島民に安心安全な医療を提供するために、桃取診療所、神島診療所への医師派遣について継続的に実施していただきたい。

鈴木知事

医師確保計画を策定するとともに、継続して派遣するよう努力する。

定するとともに、継続して派遣するよう努力する。

離島架橋の早期実現について

中村市長

これだけ人口が多く、これだけ本土から距離が近い離島で架橋が実現していくところはほかに無いのでは。命、産業、経済はもとより、特に防災上の観点からも、答志島架橋の必要性を改めて宣言する。ここで大きく舵を切つてはどうか。

鈴木知事

大事なことは、橋があつたら良いね、ということだけでなく、島民のみなさんが、現時点で未来をどう描こうとしているのか。インフラの要望については、必要性と具体的な理屈・方策、そして運動という3つの掛け算が無く実現しない。想いは現在でも十分理解しているが、財源をどう生み出すか。優先順位を考えて必要性と方策について鳥羽市さんとともに引き続き検討していくことが必要。



## 第44回 鳥羽市民文化祭

入場無料

### 音楽芸能の部

とき 10月26日(土)  
午前9時～午後4時  
ところ 鳥羽小学校体育館  
※例年とは場所が異なります。

### 作品展示の部

とき 11月2日(土)  
午前9時～午後5時  
11月3日(日・祝)  
午前9時～午後3時  
ところ 鳥羽市民文化会館  
3階・4階

教育委員会生涯学習課

☎ (25) 1268

### 団体作品

生け花展示  
生涯学習講座作品展  
あしたば作業所作品展  
サンタバーバラ会展示  
市老人クラブ作品展  
など

### 芸術作品

絵画、伊勢型紙、彫塑、工芸  
写真、絵手紙、書道  
児童・生徒絵画作品展

### 【作品受付】

10月15日(火)・16日(水)  
午前9時～午後4時  
中央公民館(市民文化会館3階)

### 体験コーナー・催し物

- ・お茶会
- ・化石レプリカ作り